

## 第1回 豊川市都市計画道路網見直し検討委員会

### 【議事要旨】

日 時：平成26年11月28日（金）午後2時～4時

場 所：豊川市役所 本34会議室

出席者：以下のとおり（敬称略）

岐阜大学名誉教授	竹内 伝史	委 員
豊橋技術科学大学教授	廣島 康裕	委 員
豊川商工会議所 総務課長	佐原 圭子	委 員
愛知県バス協会 専務理事	古田 寛	委 員
愛知県タクシー協会 豊川・蒲郡支部長	鈴木 榮一	委 員
公募委員	岩瀬 彰	委 員
公募委員	杉浦 正彬	委 員
国土交通省中部地方整備局 建政部都市整備課長	牛居 恒太	オブザーバー
愛知県建設部都市計画課主幹（代理出席）	八田 陽一	オブザーバー
愛知県東三河建設事務所 企画調整監	大谷 光司	オブザーバー
建設部長、建設部次長、都市計画課長始め都市計画課職員4名		事務局

#### 1 あいさつ

建設部長あいさつ

#### 2 委員長の選出

委員より、廣島委員の委員長への推薦があり、賛成多数により選出。

### 3 職務代理者の指名

委員長の指名により、竹内委員を職務代理者に選出。

### 4 議事

#### (1) 見直し作業の目的と概要について

○（事務局説明）委員会資料に基づき説明 資料1 P～3 P

意見・質疑等の要旨	
意見 1	（委員）作業フローとしては結構。ただし、都市計画道路については、自動車交通量だけではなく、歩行者・自転車交通をどう処理するのかについても検討すべき。また、変更・廃止だけではなく、新規路線の追加の可能性は残して欲しい。
	事務局 今後の検討の中で、参考にさせていただく。
意見 2	（委員長）路線を評価する指標について、自動車に重点を置きすぎている。また、交通量配分では実感を得づらい指標となるため、整備をするとどう改善するのかなど、分かりやすい指標を使ったほうが良い。また、指標については、歩行者や自転車についての評価を含め、事前に詰めておいたほうが良い。
	（委員長）豊川市には合併の経緯があり、新規路線の追加も予測される。選択肢として変更、廃止に加え、新規も必要だろう。
事務局	見直しの中では新規を含め、廃止、変更とともに検討をする。なお、歩行者の回遊性について、まちづくりの観点から検討していく必要があると考えており、検討を重ねる。
意見 3	（委員）災害時の被害との関係性について想定したうえで道路計画をつくる必要がある。
	事務局 防災の観点からも検討を進める。
意見 4	（オブザーバー）豊川市は合併の経緯があることから、新しい市でのつながりが重要だと思う。今回の作業の中ではまちづくりの観点で都市計画道路の必要性について重要視して欲しい。作業フローの中でまちづくりに即した必要性の検証項目を設けると良い。
	事務局 今年度予定する将来道路交通ビジョンの中で、まちづくりの視点を踏まえた検討を進める。 本市では総合計画の見直しも進めているが、その中でも旧町に拠点となる地域が存在しており、総合計画による拠点のまちづくりの方向性を踏まえ、それらを結ぶネットワークの整理が必要と考えている。

## (2) 豊川市の現況について

○ (事務局説明) 委員会資料に基づき説明 資料4P～22P

意見・質疑等の要旨	
意見5	(委員長) 豊川市では自転車関連の調査等を行っているか。
	事務局 市の内部検討として自転車通行に関する検討を進めているところである。具体的に形になったものが現在はないが、今後、検討が進められ、今年度中にはある程度の結果が示されると聞いている。
意見6	(委員) 現況データの内、高齢者データは重要なもののひとつ。年齢区分を更に細分化し、将来どうなるのか、絶対数がどこに分布しているかを検証できると良い。
	(委員) 市内には鉄道が多く、踏み切りについて閉塞率などをお示しいただくと良い。立体交差をやらなければ行けないということは大事。
	(委員) 交通事故の発生地点の分布も参考にいただきたい。
	(委員) バスについて、地域公共交通活性化再生計画との連携が必要。現在のバスの遅延の状況なども分かると良い。今後は公共交通、バスを円滑に走行させる道路施策を考えるべきで、その環境を確保することは都市計画の責任だと思う。
	事務局 データがあるものについてはお示しできると思われる。その他については事業者側に対しヒアリング等を進めたい。

(3) 上位・関連計画等の整理及び交通需要特性、道路交通特性について

○ (事務局説明) 委員会資料に基づき説明 資料23P～43P

意見・質疑等の要旨	
意見7	(委員) 道路の見直しにあたり、公共交通の現状について触れたい。公共交通を担う事業者は利用者の減少から危機的状況である。
	(委員) ヨーロッパでは公共交通の存続のために、マイカー利用者を増やす道路政策はやめているが、交通渋滞によりバスの定時性が失われることもあり、渋滞をなくすためには道路の見直しを行う必要性はあると思っている。要はまちづくりの観点から道路の見直しをすることが大事である。
	(委員) 公共交通は利用者の大小ではなく、免許を持たない世代や高齢者にとっては社会が備えるべきものであるため、それを前提として見直し作業を進めていただきたい。
	(委員) 資料の中でも超高齢社会への対応に触れられているが、大事なことである。
	事務局 今後の作業の中で参考とさせていただく。
意見8	(委員) トラック等で市内を走る際に休憩する場所がないという話を聞いている。道の駅の整備や、休憩場所などの問題も道路網の検討で考えていただけると動きやすいだろう。
	事務局 道の駅については要望をいただいているが、具体的にお示しできない。そういったご提案があったことを踏まえて検討を進める。
意見9	(オブザーバー) 現況把握の内、交通量や混雑度などについて、市内に限定せず、もう少し広域で示していただけると問題を確認しやすい。
	事務局 ご指摘について資料を精査する。
意見10	(委員) 東三河環状線のような環状線について、これが完成すると交通需要パターンに大きな影響がある。他の自治体でも同様の事例があることから、当該性格を持つ路線については、その供用開始の時期が重要な問題になる。整備見込みを調べておいたほうがよいのではないか。
	(オブザーバー) 年度を言うことは非常に難しいので、今言えるのは中期とか長期といった表現ぐらいか。
意見11	(委員長) 豊橋市でも都市計画道路の見直し作業を進めており、調整が必要である。
	事務局 豊橋市と情報交換しながら検討を進める。

(4) 道路交通の課題整理について

○ (事務局説明) 委員会資料に基づき説明 資料4 4 P～4 6 P

意見・質疑等の要旨	
意見12	(委員) 道路交通の課題について、記載の内容は一般論であり、実際には本日の委員会で出た追加の必要なデータを加え、具体的に更に整理すべきものがあるのではないかと。こちらについては、今後も議論が続くということで良いか。
	事務局 ご指摘のとおりと考える。現状の分析が進めば、課題についても連動して増減することがあると考えており、引き続き検討を進める。
意見13	(オブザーバー) 豊川市といえば豊川稲荷であり、多くの来客がある。そういった観点でも課題がある。その他、道が狭くて危ないところなど、色々なことがあると思うので、十分に議論してもらいたい。
	(委員) スズキ自動車、日立の跡地が空地となり、その土地利用の変化により状況が変わると思われるため、それも課題に含める必要があるのではないかと。
	(委員) 本見直しの将来予測時点は平成47年となっており、高齢化の状況によってはなくなってしまう可能性もあるのではないかと。施設の老朽化や医療・介護施設の立地も影響がある。また、第2東名高速道路、名豊道路の供用状況によっては、市内の交通状況は大きく変化するのではないかと。それを予測して検討する必要がある。
	(委員長) 将来は各施設が完成することを前提にして残りの都市計画道路がどうあるべきかを検討することになると思うが、土地利用の変化の想定は難しい問題である。
事務局	20年先と設定したのは都市計画という考え方の中での一般的な時点として設定したもの。現在、市で実施している総合計画の改訂と平行しながら、その結果と連動させて検討を進めていきたい。跡地の関係については、すぐ答えを出せるものではないため、現在のまちづくり計画に沿って考えていくしかないと考えている。
意見14	(委員) コンパクトなまちづくりや人口減少については見直し作業の中で議論するのではなく、上位計画である都市計画マスタープランに沿って進めるしかないのではないかと。
意見15	(委員) 検討の中では、今の現道幅員で、片側歩道でもいいところが出てくるのではないかと。しかし、都市計画をはずしてしまうと、議論が消えてしまうことがある。よって、道路構造令の標準幅員にとらわれず議論を進める必要があるのではないかと。都市計画変更して、現道幅員で拡幅はしないが、その中でこういう機能を発揮できるような構造に変えますということもあっても良いのではないかと。今どこでも都市計画道路の見直しはやっているが、もっと都市計画道路の常識をバラエティに富んだものにして、まちづくりに寄与する道路を整備することが大事だと思う。

意見 16	<p>(委員長) 作業の中では、全体の道路網の見直しではなくて、個別路線の具体的な検討にもなってくる。そうなると作業フローも変わってくる可能性がある。標準的な断面を想定し、定量的な検討をすることを主体としているが、計算結果ではない議論をするとなると流れはかなり変わる気がする。</p>		
	<p>(委員長) 第1回であり、次回はさらに吟味する必要がある。</p>		
意見 17	<p>(オブザーバー) どのタイミングで市民の意見を聞くことを考えているか。検討方法等についても意見を募ったほうが良いのではないか。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="405 611 549 748">事務局</td> <td data-bbox="557 611 1461 748"> <p>委員会としての考え方をまとめた上で、パブリックコメントを実施する予定である。なお、随時委員会結果等をホームページで公表し、意見を募っていく。</p> </td> </tr> </table>	事務局	<p>委員会としての考え方をまとめた上で、パブリックコメントを実施する予定である。なお、随時委員会結果等をホームページで公表し、意見を募っていく。</p>
事務局	<p>委員会としての考え方をまとめた上で、パブリックコメントを実施する予定である。なお、随時委員会結果等をホームページで公表し、意見を募っていく。</p>		
意見 18	<p>(委員) 出来れば、市街地にトラックを入れないような道づくりを考えていただくと町は安全になると思う。用のないトラックは市街地に出来るだけ入れないというような施策を考えていただきたい。</p>		